

平成26年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 大慈弥勒園

1. ≪平成26年度法人ヴィジョン≫

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. ≪大慈弥勒園基本方針≫

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的、肉体的な援助を行なう。又、ゲストの皆様との人間関係を深め、笑顔を忘れず“生活の場”として、利用された方やご家族に満足していただけるサービスを提供する。特養においては、認知症専門棟及び一般棟の特色を活かしたケアができる様努める。

3. ≪5カ年計画≫

●最終目標

- ①『ふあっとほーむな生活を目指す』

※ふあっとほーむとは、和みのある家庭的な雰囲気の中で、人と人とのつながりを大切にすること

- ②『一人ひとりが輝き、あなたが主役になる場所を目指す』

●中期目標

- ①経営理念やヴィジョンを全員が把握し、徹底していくことで特色ある施設作りができる。
- ②職員レベルを向上させプロ集団を形成すると共に、サービスの質を向上させる。

●26年度重点目標

- ①従来から行っているPDCAサイクルの効率化を推進する為、予定の徹底的管理を実施。
- ②ゲスト情報の一元化し、ケアプランを中心としたケアマネジメントの構築を図る。
- ③顧客確保及び人財確保の為、広報活動を推進する。
- ④老朽化等に伴う設備改修工事を適宜行う。

●課題及び実践内容

ケア部門において、これまで実施してきた『自立支援（オムツゼロ）』は、水分量の増加等で、ゲストの覚醒レベルが向上し、一定の効果を出してきたが、退職等で職員の入れ替わりと、新人職員が複雑な業務等を覚えにくく、介護の質が低下してきた。また、充足率の低下で顧客獲得の必要性が出てきた事や、人財確保も困難な状況を踏まえ、『大慈弥勒園の強み』をアピールする為に、部署毎の特色をより強調していく施策を検討した。

ケアマネジメントにおいても、これまで施設内で様々な取り組みをしてきたが、それぞれが単体の取り組みとなっており、ケアマネジメントに活かしきれておらず、終末期介護につなぎきれていない現状を踏まえ、情報の一元化を進めたい。

上記の課題を踏まえ、26年度目標を策定した。また、平成28年には、設立20周年を迎えることから、後世に残し更に発展していけるよう「伝心伝承」というテーマを掲げ、様々な取り組みを推進したいと考えている。

4. <<ケア部門>>

<目標>

○部門別目標

◎プラム棟：『ゲストが楽しみのある生活ができ、元気に過ごせる』

- ①職員個々のモチベーションを向上させチーム力を強化する。
 - A) 普段から話せる環境作り。
 - B) 部署内を清潔に保つ。(モチベーション維持には、まず清潔な環境から)
- ②ゲストの覚醒レベルを向上し、自立支援を促進する。
 - A) 認知症専門職としてのスキル向上。
 - B) ご希望を叶えることで、生活の質を向上。

◎一般棟：『褥瘡等の件数を50%減少』

- ①清潔について見直し、日常のスキンケアの徹底を図る。
 - A) 排泄・入浴介助面における手順や効率を徹底的に見直しシステム化する。
 - B) 職員個々が褥瘡好発部位を把握し適切な介護を行う。
- ②異常発見時は職員間で情報・意識を共有し迅速・正確な対応が出来る。
 - A) 褥瘡・赤みを形成しているゲストの情報を共有する。
 - B) 軽度の段階でも対策の評価を行う。
- ③ゲストの個別性を職員間で共有し、その方に応じたケアが実施出来る。
 - A) ゲストの好きなもの、興味・関心に重点を置いたアセスメントを実施する。
 - B) ゲスト視点での離着床目的を増加し、活動時間の拡大を図る。

5. <<経営部門>>

<目標>

- ①充足率99%維持を目指し、経営基盤の安定を図る。
 - A) 各部署等と共同し、ゲストの疾病予防策を検討して健康維持を図る。
 - B) 入所待機者との関わりを増やし状況を把握する。上位3名の面接を常に行い、スムーズな入所を目指す。緊急入所についても率先して行動する。
 - C) 総務部と共に経営分析を長期・中期的に行い健全な経営を維持する。
 - D) 待機者管理促進の為、月2回会議を実施する。
- ②新たな加算取得を目指し収入アップを目指す。
 - A) 認知症専門ケア加算の取得を目指す。
- ③紙おむつ代の削減の継続を図る。
 - A) 25年度実績を上回らないよう、チェック体制を継続。
- ④人財確保及び新規顧客獲得のため、広報活動の推進を図る。
 - A) リニューアルしたホームページを更に活用し、情報量の増加及び「大慈園らしさ」をアピールする。
 - B) フェイスブック等を活用し、リアルタイムな情報を発信し続ける。
 - C) 学校訪問し、人財確保を図る。
- ⑤介護福祉士資格取得支援制度の拡充を行う。
 - A) 実務者研修費用全額支給
 - B) 登録研修機関の申請・登録

6. <<相談援助部門>>

<目標>

- ①ゲスト情報の一元化し、ケアプランを中心としたケアマネジメントの構築を図る。
 - A) アセスメントツールの検討・実施。
- ②モニタリングの精度を上げる
 - A) モニタリングシートの検討・更新
 - B) 情報収集の方法や共有方法の再検討

7. <<看護部>>

<目標>

『人生最期の時を安らかに迎えられるよう尊厳を守り本人の生き方を尊重したエンドオブライフケアを実践する』

- ①身体機能の衰弱による褥瘡発生を防止する。
- ②本人や家族の意思を尊重できるよう気持ちに寄り添ったグリーフケアの充実に取り組む。

<年間業務>

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線、採血
6月	全職員定期検診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、腰椎X線（CWのみ）等
10月	全職員	インフルエンザ予防接種
11月	ゲスト	インフルエンザ予防接種
	ゲスト・介護職員定期検診	胸部X線 採血等

<週間診療表>

曜日	午前 午後	医師名	診療科目	頻度
月	午前・午後	坪内淳一	内科	毎週
火	午前・午後	坪内淳一	内科	毎週
	午後	松尾信二	精神科	毎週
水	午前	真継 猛	整形外科	毎週
	午後	松浦 肇	皮膚科	月2回
		櫻林義雄	歯科	毎週往診
木	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	坪内淳一	内科	毎週
金	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	坪内淳一	内科	毎週
			糖尿内科	毎週
土	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	松尾信二	精神科	毎週

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診。

8. <<理学療法科>>

<年間計画内容>

座位排便の定着に向けて、1・3Fとの連携を密にする事で、メニュー作成時より参加し、日中の排便を促せる運動項目の設定をすることで、自立支援に向けた取り組みができればと考えている。

<実践目標>

①個別機能レベルの評価

- A) 生活対応の見直し（個別対応）・・・年2回
- B) 残存機能レベル評価・・・年2回

②座位排便の定着

- A) 運動部門への提言
 - ・メニュー作成へのアドバイス
 - ・機能状態に応じた運動項目の立案
 - ・状況に応じて変更や見直し
- B) 現場対応策の提言・・・随時（年2回のリスク研修等）

9. <<栄養科>>

<目標>

①チームで自立支援理論による全員常食化をめざし、ゲスト個々の機能維持

- A) 食事形態アセスメントシートを活用し、他職種で評価決定し情報を共有する。
- B) 各部署の部門チームと情報を交換する。
- C) 食事形態アセスメントシートの項目を見直し、更新する。
- D) 目標を共有し、担当職員から情報発信できる環境を作る

②食生活の質を向上

- A) 各フロアと厨房の調整
 - ・情報収集と他職種との意見交換を行う。
 - ・各部署の食事部門と情報を共有する。
- B) ゲストの嗜好にあった食事計画の実施
 - ・ゲストのメニューアンケート結果から食事計画を実施する。
 - ・各フロアの特徴を生かした食事計画を継続して実施する。
 - ・食事行事を継続する。日常の食事提供に取り入れる事で、刺激ある食事サービスの機会を増やす。

<年間行事食予定>

月	年間行事	行事食	月	年間行事	行事食
4月	お花見	○	11月	焼き芋	○
	おにぎりパーティー	○		鍋パーティー	○
5月	土鍋ご飯バイキング	○		井吹台西町祭り	
	母の日	○	12月	忘年会	○
6月	父の日	○		クリスマスバイキング	○
	中華バイキング	○	1月	餅つき	○
7月	七夕	○		おせちバイキング	1日
	素麺パーティー	○		正月料理	1～3日
8月	地藏盆、夏祭り			寿司バイキング	○
	かき氷パーティー	○		七草粥	○
9月	敬老の日	○	鏡開き	○	
	パンバイキング	○	2月	節分	○
	樫谷川祭り			チョコパティシエパーティー	○
	秋祭り		3月	ひな祭り	○
10月	秋刀魚パーティー	○		串揚げバイキング	

<月間行事食予定>

行事食	頻度
家族食事会、おやつ作り	毎月1回
行事食（赤飯）	毎月1日
おやつ作り	月1～2回
喫茶らんらん	概ね毎週木曜日
選択食（朝食）	毎日
誕生会	誕生日、第3月曜

10. <環境整備計画>

建物や設備の老朽化に伴い、施設環境整備を行う。

- ①配管設備等の入れ替え工事
- ②居室内環境の改修工事
- ③机・椅子の入れ替え及び感染症対策による機器購入

11. <大慈弥勒園の特徴>

①入浴

- A) 特浴（週2回）→座位式の機械浴にて、寝たきりの方でも安心して入浴できる。
- B) 中間浴（週2回）→家庭用の浴槽を使用し、職員がマンツーマンで対応する事で、認知症の方や障害をお持ちの方でも安心して入浴できる。
- C) 一般浴（週2回）→主に自立歩行者を対象とし、循環式の大浴場にて、安心して入浴できる。

☆ゲスト個々の状態に合わせた入浴形態を考案・実施する。

②排泄

- A) トイレ誘導→オムツ外しを積極的に行い、ゲスト個々の尿間隔に合わせた援助を行う。
- B) オムツ交換→定時4回交換実施。排泄アセスメントから個々の尿量に合わせてオムツの種類を決定し、個別援助を行う。

☆ゲスト個々の状態に合わせて随時サービスを考案・実施する。

③食事

- A) ホールで食べて頂く事を基本とし、ゲスト個々の状態に応じて、ソフト食・スルー食等を提供する。
- B) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する。
- C) 疾病に応じた療養食を提供する。

④生きがい作り

- A) お誕生会を従来型（月毎に全員実施）から、生まれたその日にお祝いする。
- B) ご家族との交流の場を提供する（家族食事会等）。
- C) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する。
- D) 地域との交流を促進する。
- E) おやつ作りを実施する。
- F) 音楽療法・園芸療法・くもん式学習療法・化粧療法を実施する。

⑤機能回復訓練

- A) 機能回復訓練士が、随時リハビリを行う。
- B) 機能回復訓練士の指導のもと、生活リハビリを行う。
- C) 生活リハビリを積極的に行いADLの維持 向上を目指す。
- D) 食事は、ホールにて食べて頂く事を基本とし、離床を促す。

1 2. 《衛生》

害虫駆除（年2回）、口腔ケア（毎食後）、寝具交換（週1回）

1 3. 《委員会活動等》

	内容
委員会名	大慈園事故再発防止対策委員会
頻度・時間等	毎月第二水曜日 14時～16時
目的・内容等	事故発生防止のための指針に基づき、マニュアル作成・事故報告書の検討・職員研修等を検討・実施する。又、部署内で、事故検討委員会を設置し、事故の再発防止を図る。
目標等	①付き添い・見守り時の事故発生率0% ②介護技術の向上 ③安全・安心介助の啓発 ☆研修会→7月・9月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園サービス向上委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 15時～16時
目的・内容等	大慈園のサービスに関する、苦情処理・食事・入浴・排泄・看取り等の検討及びアンケート調査・研修を通じて職員の資質向上を図る。
目標等	①笑顔コンテストの開催。 ②5S活動の推進。 ③サービスマニュアルの作成。 ☆研修会→5月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園感染症防止対策委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 14時～15時
目的・内容等	感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。
目標等	①園内での感染症発症率0% ②マニュアルの習熟度を向上させる。 ☆研修会→7月・2月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園非常災害時対策委員会
頻度・時間等	毎月第四水曜日 午後15時～16時
目的・内容等	非常災害時（地震、火災等）に対する防災意識向上や警戒発令時の敏速な対応等、総合的な推進を図り、被害の軽減を図る。
目標等	①毎月1回訓練を実施。総合避難訓練は年2回実施し、内1回は夜間想定で実施する。 ②災害発生後3日後のBCPを作製し、訓練を通して更新する。 ☆研修会→8月・12月予定

	内容
委員会名	大慈園給食委員会
頻度・時間等	毎月第一水曜日 16時～17時
目的・内容等	栄養科が中心となり、各部署の食事係が食事形態等について協議する。
目標等	①食事行事を通じ、生活の満足度を上げる。 ②アセスメントシートを活用し、他職種で取り組む。 ③食事行事を通じ、ゲストの状態を把握することができる。 ☆研修会→5月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園行事委員会
頻度・時間等	毎月第三月曜日 14時～16時
目的・内容等	機関紙の編集・発刊や秋祭り・地藏盆等の施設全体で行う行事の計画及び実行を行う。
目標等	①機関紙『だいじの森』を年2回発刊する。 ②8月に地藏盆を開催する。・・・地域住民が対象 ③9月に秋祭りを開催する。・・・ゲスト、ご家族が対象 ④9月・11月に近隣行事に露店を出店する。 ⑤その他の行事の開催及び職員交流会の実施をする。 ☆研修会→5月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園マナーアップ委員会
頻度・時間等	毎月第四木曜日 15時～16時
目的・内容等	一般常識、慣例である言葉使い等をマニュアルを基に向上させる。
目標等	①「ものをさがす時間」を「自分をさがす時間」に ②接遇は ひとりひとりの 思い会い ☆研修会→5月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園看取り介護委員会
頻度・時間等	毎月第四月曜日 14時～16時
目的・内容等	看取り介護においての、カンファレンスや知識向上を行い、理念である「当たり前のあるがままの生活、我が家のような生活」ができる様環境作りを行う。
目標等	①人生最期の時を安らかに迎えられるよう尊厳を守り本人の生き方を尊重したエンドオブライフケアを実践する。 ☆研修会→6月・11月・3月の年3回予定

	内容
委員会名	大慈園褥瘡防止委員会
頻度・時間等	毎月第四月曜日 14時～16時
目的・内容等	褥瘡や表皮剥離等の原因分析及び対策を検討し、職員の資質向上を図る。
目標等	①発生件数0件を目指す。 ・褥瘡ケア計画に基づくチームケアの実践ができる ☆研修会→6月・11月・3月の年3回予定

	内容
委員会名	医療的ケア委員会
頻度・時間等	毎月第一金曜日 午後15時～16時
目的・内容等	胃ろう・吸引が必要な方への支援方法や職員のスキルアップできる研修会の立案等を検討する。
目標等	①医療的ケアを受講した職員の手技・知識の向上 ②インシデントレポート（ドキドキ報告書）の記載内容から改善策に繋げる。 ☆研修会→10月・1月予定

	内容
委員会名	学習療法推進委員会
頻度・時間等	毎月第三木曜日 午後14時～16時
目的・内容等	くもん式学習療法を活用し、認知症の悪化防止を図る。
目標等	①4回/週以上実施 ②研修会の実施 ☆研修会→5月予定

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 事業戦略推進委員会
頻度・時間等	毎月1回 13時～15時
目的・内容等	法人全体で行う事業戦略を検討する。部門別に各委員会を設置し、取り組み内容を決定する。人事・予算・社会貢献、研修、広報、労働衛生
目標等	①レジェンドケース発表会開催。 ②こども参観日を年2回開催。 ③法人で実施する事業等を実行する。

研修会名	対象者・内容等	頻度等
①新人研修	新卒採用者及び中途採用者を対象	4月
②中途採用者研修	①を受講できなかった中途採用者対象	10月
③ステップアップ研修	次等級へ昇格するための研修	12月頃
④評価者研修	人事評価制度の役職者向け研修	4月頃
⑤人事評価制度研修	パートを対象	4月頃
⑥管理者研修	主任等の役職者を対象とした研修	年4回
⑦高齢者虐待防止研修	全職員（パート含む）を対象とした研修	年2回
⑧労働衛生研修	全職員対象	年1回

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 人事委員会
頻度・時間等	毎月第四火曜日 10時～12時
目的・内容等	人財育成システムの習熟度をあげる施策や人事検討会議の実施等を行う。
目標等	①評価者向けの研修会を実施。(5月・6月) ②制度の見直し作業を開始。

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 予算委員会
頻度・時間等	年3回 10時～12時
目的・内容等	予算執行状況の確認及び予算策定に向けた話し合い等を行う。
目標等	①施設長を対象とした会計勉強会開催。 ②事業計画に沿った予算策定ができる。

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 社会貢献委員会
頻度・時間等	第一金曜日 10時～12時
目的・内容等	法人が社会貢献を実行する為の施策の検討及び実施。
目標等	①地域にて行事を行い、地域の方々と職員の交流を図る。 ②介護予防セミナーを行い地域の方々が出掛ける場を作る。

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 研修委員会
頻度・時間等	第一金曜日 10時～12時
目的・内容等	研修システムの構築や各種研修会の立案・実施。
目標等	①新人研修・虐待防止研修会の開催。 ②講師の評価システムの構築。

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 広報委員会
頻度・時間等	第四火曜日 14時～16時
目的・内容等	パンフレット作成やホームページの更新作業及びイベントの開催等を行う。
目標等	①求職・見込み・地域等、相互作用が働く情報発信。 ②各種行事に参加しコンセプトを持った写真を撮影する。 ③各種コンテスト1位を目指し露出記事・写真件数の増加を図る。

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 労働衛生推進委員会
頻度・時間等	第三金曜日 15時～17時
目的・内容等	職員の労働環境の向上及び悪化防止
目標等	①介護職員の腰痛軽減対策。 ②脂質異常症を減らす。

14. 《職員会議等》

頻度	会議名			
月1回	正副施設長会議	主任会議	369 会議	会計会議
	部門会議	事務部会	仏間会議	全体会議
随時	ケアカンファレンス	医務部会		

15. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し随時受け付け口頭・書面で上司へ報告し敏速で確実な対応を行う。

16. 《月行事・行事食予定》

月行事	頻度
家族食事会、理髪、チェリッシュパン販売、バイキング、外出の日	毎月1回
ミュージックセラピー	毎月4回
パン販売	毎週金曜日
買い物外出、コーヒー喫茶、化粧療法、	毎月2回
ビデオ上映会、カラオケクラブ、嚙下体操等、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩、くもん式学習療法、農園、園芸療法、	随時

17. 《年間行事・行事食予定》

月	年間行事	月	年間行事
4月	お花見	10月	遠足
	設立記念日	11月	井吹台西町祭り
5月	遠足(回轉寿司)	12月	忘年会
	母の日		クリスマス
6月	父の日	1月	餅つき
	買物ツアー		元旦(正月料理)
7月	そーめん大会		
	3F 夏祭り	2月	節分、ショコラティエ
8月	地藏盆	3月	ひな祭り
	海上花火大会		遠足
9月	敬老の日		
	櫛谷川祭り		
	屋台村		

18. 《職員配置》ショート含む定員115名

施設長	副施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	1名	2名	1名	2名
看護職員	管理栄養士	介護職員(正職)	介護職員(パート)	
8名	1名	24名	21名	